

# 図書館だより



令和8年1月号  
泉が丘小学校

新年あけまして、おめでとうございます。お正月は、新しい年のはじまりです。日本では、その年はじめてのことにつけて、「初」をつけて、様々な願い事をしました。「初日の出」、「初夢」、「書き初め」などです。みなさん、「初もの」にどんな願いをこめましたか？



## 今年の干支 馬がでてくる本



干支の中でも「午」は、勢いのある年、前向きな動きを生む年とされています。馬は、古来富の象徴であったり、人々の生活を支えたり、縁起の良い動物でした。ここでは、「馬」が登場する昔話や本を紹介します。

「チャマコとみつあみのうま メキシコ・ミス  
テカ族のお話」清水たま子／福音館書店



チャマコは牧場を手伝う男の子。村人から「みつあみのまのもの」の話をきいた日、不思議なおじいさんにあります。

「うまかたやまんば」おざわとしお再話  
／福音館書店



馬方が魚を馬に乗せて峠を行くと、山姥が追いかけてきて、すべて食べてしまします。さて馬方の仕返しは？

「十二支のはじまり」岩崎京子／教育画劇  
「一月一日の朝、神様の家にきた者に1年ずつ年をやる」と聞いた動物たちは大はりきり。十二支の中に、馬もいますね！



「はるふぶき」加藤多一／童心社



三年生のマサルは馬の「アオ」のひくソリで一人で丸太を売りに町へ行きます。その帰り、ふぶきにあい、気を失ってしまいます。マサルはどうなるのでしょうか…。

「ルシールはうま」アーノルド・ローベル  
／文化出版局



ルシールはおひやくしようさんの馬。すきを引っぱり、畠で働くことにあきあきして、帽子や服を着て美しく装ってみますが…。

「ナルニア国物語⑤ 馬と少年」  
C.S.ルイス／岩波書店



奴隸になる寸前で逃げたシャステは、ものいう馬ブリーとナルニア国侵攻の陰謀を知り、祖国を救うため旅を急ぎます。





## しんしゅん いすみ おか 新春イベント★泉が丘おみくじ



業間・屋休みに本を借りると、特製「泉が丘おみくじ」をひくことができます。  
おみくじで大吉が出た人には、プラス1冊貸出をプレゼント！中吉・小吉が出た人は、  
おみくじがおすすめする本を借りたら、プラス1冊貸出をプレゼント。新年の運だめし、  
ぜひ、参加してくださいね！！

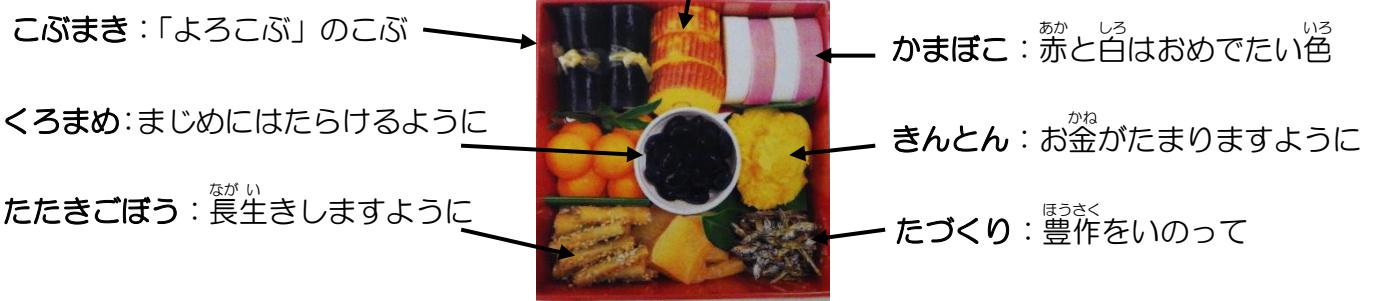
ちゅうい プラス1冊本を借りる時は、カウンターでおみくじを見せてください。  
なくさないように気をつけましょう！



## ちしき おせちマメ知識

みなさんがお正月に食べる「おせち」。本来は、大みそかに年神様に供えたあと、家族で食べて、その年の健康をいのるものでした。それをおかずには、願いがこめられていますので、いくつか紹介します。みなさんは、何を食べましたか？

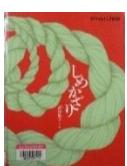
だてまき：読書でかしこくなりますように



## 1月におすすめの本

### 「しめかざり たくさんのふしき傑作集」

森須磨子／福音館書店



お正月、家の玄関に飾られる“しめかざり”。日本各地に、色々な形のしめかざりがあります。新春に厳かな気持ちになれる一冊。

### 「おせち」内田有美／福音館書店



おせち料理には、古来からの人々の願いが込められています。おせちを美しい絵と楽しいことばで紹介。

### 「雪の結晶のノート」マーク・カッサー・ゾヨン・ヌリツ

／あすなろ書房



雪の結晶はどうして美しく複雑なのでしょう？小さな「ちり」がもとになって、水と空気で作られます。

あなたも観察してみよう！

### 「しもばしら」野坂勇作／福音館書店



凍るように寒い冬の朝、畑の上を歩くとサクッサクッとくずれる霜柱。どうやってできるのかな？